



2026年2月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド リ ー ム ・ ア ー ツ
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 孝 昭

(コード番号：4811 東証グロース市場)

問 合 せ 先 取締役専務執行役員 経営管理本部長 牧 山 公 彦

(TEL 03-5475-2501)

(訂正)「2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」の
一部訂正について

2026年2月12日に開示いたしました「2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」について、一部訂正すべき事項がありましたので下記の通りお知らせいたします。

なお、開示済みの決算短信等の数値に訂正是ありません。

また、当社ホームページに掲載している当該資料の数値は訂正反映済となっております。

1. 訂正の理由

「2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」の内容に一部誤りがあることが判明いたしましたので、下記の通り訂正いたします。

2. 訂正の箇所およびその内容

別紙をご参照ください。訂正箇所は赤枠で示しております。

(別紙)

- ・2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）

P28 2026年12月期通期 連結業績見通し

「2025年12月期 通期実績」 「前期比差異」 「前期比増減率」

(訂正前)

■ 2026年12月期通期 連結業績見通し

DreamArts

- ・クラウド事業の成長を中心に、関連するプロフェッショナルサービス事業も順調な成長を計画
- ・オンプレミス事業（メンテナンス売上）の縮小は成長率を抑制するが、将来のコスト最適化につながる健全な構造転換
- ・中期経営計画の達成に向け、人材・広告販促・製品開発への積極的な投資を継続し成長基盤を強化

単位：百万円

	2025年12月期	2026年12月期		
		通期実績	通期業績予想	前期比差異
売上高	5,654	6,250	595	10.5%
クラウド事業	4,468	5,140	671	15.0%
オンプレミス事業	525	404	△ 120	△23.0%
プロフェッショナルサービス事業	660	704	44	6.8%
売上原価	2,121	2,386	264	12.5%
売上総利益	3,532	3,863	331	9.4%
売上総利益率	62.5%	61.8%	-	-
販売費及び一般管理費	2,099	2,998	899	42.8%
営業利益	974	865	△ 109	△11.2%
営業利益率	17.2%	13.8%	-	-
税金等調整前当期純利益	1,073	890	△ 183	△17.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	757	616	△ 140	△18.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	13.4%	9.9%	-	-

1 売上高

・ホリゾンタルSaaS（クラウド事業）
前期内引き続きアップセルの好調な推移を見込んでいます。新規顧客は60社の獲得を計画しています。顧客ニーズに即した提案と導入支援を強化することで、SmartDBの更なる活用を促進していく方針です。既定戦略に伴う解約は概ね収束したと認識していますが、小規模トライアル顧客の解約は一定程度発生するものとして計画しています。

・バーティカルSaaS（クラウド事業）
前期内大型顧客の解約がありましたが、新たな全国チェーンへの導入プロジェクトが進行しており、再度成長軌道に乗るものとして計画しています。

・オンプレミス事業は、ライセンス受注を計画に纏り込みず、ソフトウェアメンテナンスの解約加速を見込んでいます。

・プロフェッショナルサービス事業は、クラウド移行および導入・開発支援プロジェクトを中心に、前年比で微増となるものとして計画しています。

2 営業利益

中期経営計画の初年度として、引き続き人材採用、広告販促、製品開発への成長投資を積極的に進めると計画しています。増収分は成長投資に振り向けても、市場環境や株式市場を意識し、収益性とのバランスを考慮した利益計画としています。AI関連の製品開発に伴う材料費の増加も織り込んでいます。

3 税金等調整前当期純利益

有事に備え準備していた保険の解約返戻金受領に伴い、営業外収益として19百万円の発生を見込んでいます。

28

(訂正後)

■ 2026年12月期通期 連結業績見通し

DreamArts

- ・クラウド事業の成長を中心に、関連するプロフェッショナルサービス事業も順調な成長を計画
- ・オンプレミス事業（メンテナンス売上）の縮小は成長率を抑制するが、将来のコスト最適化につながる健全な構造転換
- ・中期経営計画の達成に向け、人材・広告販促・製品開発への積極的な投資を継続し成長基盤を強化

単位：百万円

	2025年12月期	2026年12月期		
		通期実績	通期業績予想	前期比差異
売上高	5,654	6,250	595	10.5%
クラウド事業	4,468	5,140	671	15.0%
オンプレミス事業	525	404	△ 120	△23.0%
プロフェッショナルサービス事業	660	704	44	6.8%
売上原価	2,121	2,386	264	12.5%
売上総利益	3,532	3,863	331	9.4%
売上総利益率	62.5%	61.8%	-	-
販売費及び一般管理費	2,557	2,998	440	17.2%
営業利益	974	865	△ 109	△11.2%
営業利益率	17.2%	13.8%	-	-
税金等調整前当期純利益	1,073	890	△ 183	△17.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	757	616	△ 140	△18.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	13.4%	9.9%	-	-

1 売上高

・ホリゾンタルSaaS（クラウド事業）
前期内引き続きアップセルの好調な推移を見込んでいます。新規顧客は60社の獲得を計画しています。顧客ニーズに即した提案と導入支援を強化することで、SmartDBの更なる活用を促進していく方針です。既定戦略に伴う解約は概ね収束したと認識していますが、小規模トライアル顧客の解約は一定程度発生するものとして計画しています。

・バーティカルSaaS（クラウド事業）
前期内大型顧客の解約がありましたが、新たな全国チェーンへの導入プロジェクトが進行しており、再度成長軌道に乗るものとして計画しています。

・オンプレミス事業は、ライセンス受注を計画に纏り込みず、ソフトウェアメンテナンスの解約加速を見込んでいます。

・プロフェッショナルサービス事業は、クラウド移行および導入・開発支援プロジェクトを中心に、前年比で微増となるものとして計画しています。

2 営業利益

中期経営計画の初年度として、引き続き人材採用、広告販促、製品開発への成長投資を積極的に進めると計画しています。増収分は成長投資に振り向けても、市場環境や株式市場を意識し、収益性とのバランスを考慮した利益計画としています。AI関連の製品開発に伴う材料費の増加も織り込んでいます。

3 税金等調整前当期純利益

有事に備え準備していた保険の解約返戻金受領に伴い、営業外収益として19百万円の発生を見込んでいます。

28